杵築市議会
産業建設常任委員会視察報告書

１．視察参加者　　小野義美委員長、多田忍副委員長、
藤本治郎、田中正治、真鍋公博、酒井健太各委員
随行～長田議会事務局書記

２．視察日時　　令和５年７月１９日（水）～２１日（金）

３．視察先　　埼玉県深谷市、寄居町、小川町
東京都千代田区永田町
（大分県関係衆参両議員会館、国会議事堂）

４．視察の目的（テーマ）

（１）深谷市～スマート農業（アグリテック集積戦略）
（２）寄居町～中心市街地活性化計画
（３）小川町～武蔵の小京都
（４）国会訪問～大分県関係各国会議員事務所訪問（陳情）と参議院見学

５．行程表（別添）

６．添付資料（別添）

①深谷市…「Deep　Valley」アグリテック集積戦略（概要版）
②寄居町…中心市街地活性化基本計画（概要）
③小川町…まちなか散策マップ
④参議院…見学ガイドパンフレット

７．視察関連写真（別添）

◇第１日目（深谷市）

と　き　　令和５年７月１９日（水）１３：３０～１７：００
ところ　　深谷市役所、渋沢栄一記念館
対応者　　深谷市役所
　　議会事務局　佐藤事務局長、籠島主任
　　産業ブランド推進室　小暮係長、富田説明員

Ⅰ．深谷市の概要

１．地勢、人口…138.37ｋ㎡、142,003 人（平成２７年国調）

江戸時代には深谷の地の多くは天領となり、中山道の宿場町として繁栄した。また、中瀬は利根川の河岸場で、物資流通の拠点として賑わった。

明治時代になると文明開化の波に大きな影響を受け、中でも鉄道の開通は大きな出来事でした。日本近代産業の発展に大きな貢献を果たした日本煉瓦株式会社の設立もこの時期です。現在は、農業を始めとして商業、工業などがバランスのとれた発展をみせている。

（深谷市議会の概要より）

２．市域の変遷…昭和３０年１月に藤沢村、幡羅村、明戸村、大寄村を合併
平成１８年１月に深谷市、岡部町、川本町、花園町と合併

３．第２次深谷市総合計画（基本構想　２０１８年～２０２７年）

・キャッチフレーズ　元気と笑顔の生産地　ふかや
　深谷市は「元気」が湧いてくるまちを目指します。
　深谷市は「笑顔」にあふれるまちを目指します。

４．予算関係

令和５年度一般会計当初予算額…52,285,947 千円

５．指数・統計等

（令和４年度）　財政力指数 0.73、実質公債比率△2.0、経常収支比率 87.9
ラスパイレス指数　99.1

６．議会関係

議員定数２４人

Ⅱ．アグリテック集積戦略にかかる（深谷市におけるスマート農業）の取組み

事前に送付した質問事項について説明を受ける。

質問１：農業の現況（主な品目、生産額、年代、組織、後継者等）は

回答１：主な品目は、ネギ（全国１位）、ブロッコリー（全国１位）、ホウレンソウ（全国４位）、キュウリ（全国１位）など。
生産額は、年間約３０９億円。
生産者の年代は、７０歳近い方が大部分。
後継者として、年間約３０人の新規就業者がいるが、廃業する人の方が多い。また個人経営から法人経営に移る方が多い。

質問２：アグリテック集積戦略の策定の措置（国・県の資金対応等）はあったか、またその契機は

回答２：国や県からの補助金はなし、全てふるさと納税の収益金で対応。
ふるさと納税の収益約９億円/年→アグリテック事業７千万円/年

質問３：スマート農業への関心度（農家の反応）はどのような感じか

回答３：現在、企業側が成長過程だが、利用された農家には大好評。
会員数（現在 180 名）が徐々に増えている。

質問４：担当課、係は、どういう活動をされているか

回答４：担当の産業ブランド推進室は、地域通貨、商工業、企業誘致の３つの担当に分かれて活動している。

質問５：定量的目標の成果、評価はどうなっているか

回答５：企業誘致に関して、現状３件達成、令和９年までに１０件まで伸ばす。

質問６：具体的な企業誘致の実例は

回答６：資料参照

質問７：計画の今後の予定、課題はどうなっているか

回答７：いかに企業を誘致するかと、土地の開発（造成と道路の整備）に力を入れていく。

【その他質問（説明を受ける中で行った質問)】

質問１：地域通貨について

回答１：アプリとカードの２種類があり、システムは民間のものを利用。

質問２：花園地区アウトレットについて

回答２：花園ＩＣプロジェクトとして、市が公募した。

◇第２日目

①寄居町

と　き　　令和５年７月２０日（木）９：３０～１１：３０

ところ　　寄居町役場

対応者　　寄居町役場

笠原副議長（佐伯市に友人、大分県４回訪問）

議会事務局　町田次長

プロモーション戦略課　浅沼課長

都市計画課　河邊課長、都市整備班　菅谷主幹

Ⅰ．寄居町の概要

・面積 64.25 ㎢、人口 32,106 人、人口減少傾向

・２本の国道と３本の鉄道８つの駅を持つ交通の要衝

・国史跡「鉢形城跡」（日本の１００名城）

・ホンダ寄居工場（議会～ホンダ支援委員会）

・まちづくりの理念「可能∞（むげんだい）　笑顔満タン　よりいまち」

・一般会計 12,883,332 千円（令和５年度当初予算）
　特別会計３、企業会計２

・【令和３年度】財政力指数 0.810 経常収支比率 77.2、実質公債費率 3.4、
　将来負担比率 24.1

Ⅱ.「中心市街地活性化基本計画（概要）」について

事前に送付した質問事項について説明を受ける。

質問１：計画策定の背景、経過は

回答１：中心市街地活性化事業とは「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき、市町村が「中心市街地活性化計画」を作成し、内閣総理大臣が認定する制度。

寄居町は、平成３０年に全国の町で初めて認可を受け、平成３０年度から令和４年度までの５年間を計画期間とし、事業を集中的に進めた。総事業費２５億円。

背景としては、寄居駅北側は町役場等の公共施設があるが、寄居駅南側は人口減少（約５５年間で中心市街地のシェア 20.6%⇒7.3%）。後継者不足、郊外への大型店の進出、空洞化がみられ活力や賑わいが著しく失われていた。また、進入路も一方通行で狭く、面的な整備も課題であった。

質問２：計画への住民等の協力は

回答２：自治会代表等の地元検討会議で検討された。

また、未利用市有地の売却等の協力も得られた。

質問３：中心市街地の課題や主な事業は

回答３：ａ）三つの大きな課題

・まちの賑わい再生、商業の活性化、まちなかの居住の推進

ｂ）目指す中心市街地像

・歩きたくなる、歩いてお得なまち

ｃ）主要な事業

・都市計画道路中央通り整備事業（延長 230m、幅員 16m）

・寄居駅南口駅前広場整備事業

多目的交流広場・・・愛称「YORIBA（ヨリバ）」

・寄居駅南口駅前拠点整備事業

観光来訪者へのもてなし提供

立ち寄り施設・・・愛称「Yotteco（ヨッテコ）」

・商いチャレンジ応援プロジェクト(創業支援、空き店舗活用補助金)

商工会やまちづくり会社が中心に、商業機能の強化と起業支援。町外にターゲット、料金を取るよりも賑わいの創出が第１。

・寄居スタイルの住宅環境提供事業（多世代住宅用地９棟）

・定住促進事業（定住転入希望者への新築住宅取得補助）
・新婚応援家賃補助事業（新婚夫婦への賃貸住宅家賃補助）
・子育て支援ネットワークづくり事業
　乳児の授乳やおむつ換えをする場所「赤ちゃんの駅」設置支援。

質問４：数値目標や評価は
回答４：新規出店数や居住人口の社会増減数などの数値目標は達成しているが、歩行者、自転車の通行量などの数値は厳しい状況。

質問５：今後、中心市街地活性化基本計画の第２期計画を策定する予定は
回答５：現時点で計画の予定はない。

質問６：プロモーション戦略課の現状は
回答６：職員８人。中心市街地、観光、情報発信で Instagram 毎日更新。
職員作成の「YORII TOWN DIARY」ORIGINAL NOTE（別添）
を作成（６年目）

質問７：地域おこし協力隊は
回答７：２人（総務省対象外、埼玉県 1/2 補助）
会計年度任用職員ではなく委託契約。魅力発信、移住者対策。

Ⅲ．寄居駅南口駅前拠点「Yotteco」「YORIBA」現地視察

１．まちなか回遊の拠点

町民が集う場、来訪者を迎える場、交流する場、学習する場
１階～休憩、待合、観光案内、移住・定住相談、物販スペース
２階～多目的スペース（会議、学習等）、屋上～展望デッキ
広場～マルシェ、キッチンカーを使ったイベント開催などに活用

２．株式会社まちづくり寄居⇔中心市街地活性化委協議会

平成２８年４月設立、株主～町、商工会、金融機関等１９者
資本金１，０００万円（まち２５％）、従業員（町から派遣１名）

３．主な事業

・「Yotteco」の運営委託管理費２，１００万円（指定管理者）
・地域通貨「よいか」運営事業～３年目、約１５０店舗登録
・広場「YORIBA」出店（１５円/㎡）

②小川町

と　き　　令和５年７月２０日（木）１３：３０～１５：３０
ところ　　小川町駅周辺（武蔵の小京都の町並み）
対応者　　小川町おもてなし観光案内員（観光ガイド）２名

【町並み案内】

以前、杵築市で行われた全国小京都会議に、小川町の職員の方に遠路出席していただいたこともあり、和紙のふるさと、「武蔵の小京都」と言われる小川町の町並みを視察した。猛暑の中、観光案内所「ぬすびめ」を始発終点に、和紙体験学習センターをはじめ、しまむら発祥地、造り酒屋など１５か所、約２．７㎞、２時間余り懇切丁寧な案内、説明をしていただいた。

◇第３日目

と　き　　令和５年７月２１日（金）９：３０～１１：３０
ところ　　東京都千代田区永田町
　　大分県選出（出身）衆参議員会館事務所
対応者
　　岩屋毅、吉良州司、衛藤征士郎、吉川元、各衆議院議員秘書
　　衛藤晟一、古庄玄知、白坂亜紀、各参議院議員秘書

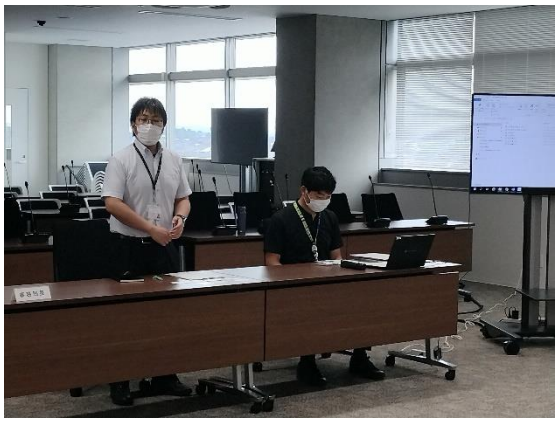
【陳情内容】

①農林水産業をはじめとした早期の燃油高騰対策
②国道１０号山香地域の歩道整備
（各国会議員が不在だったため、秘書の方々と意見交換を行った）

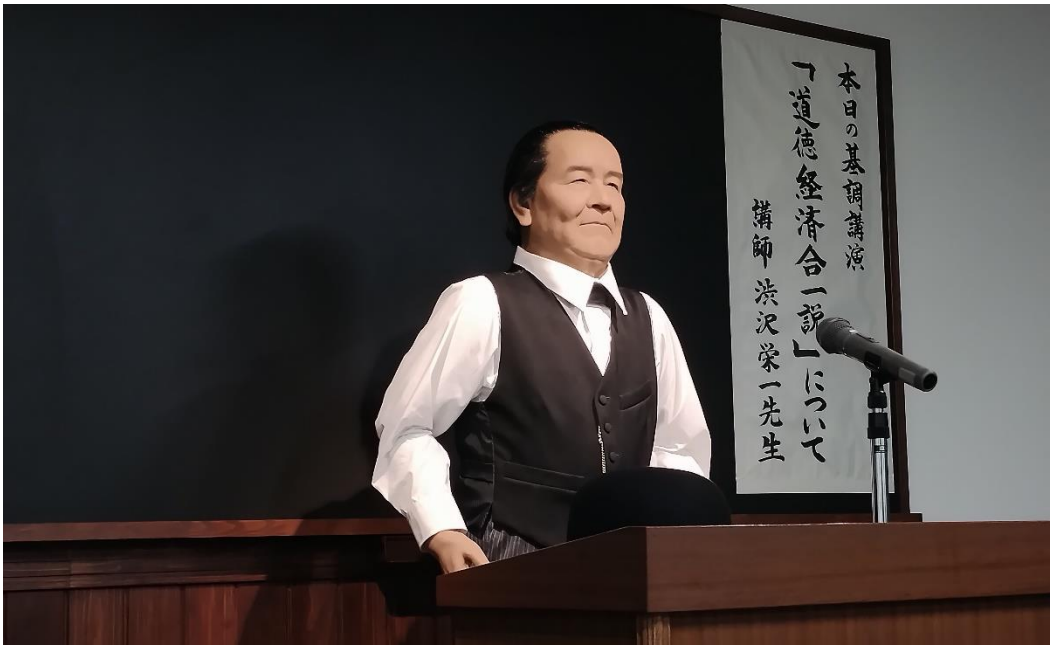
【参議院院内見学】

参議院公務員傍聴参観係の方の説明が伴う見学
天皇陛下の臨席される御席があるため参議院を選定
三権分立であるが、国権の最高機関は国会（立法）であり、その歴史と伝統の重みを感じさせられた。
あらためて民主主義の学校である、基礎自治体の議会の重要性に身が引き締まる思いを抱いた。

深谷市役所　視察の様子



渋沢栄一記念館（深谷市）　アンドロイド渋沢栄一



寄居町役場　視察の様子

寄居町役場　議場

寄居駅南口の様子　中心市街地活性化基本計画により整備

寄居駅（南口）

Yotteco　１階　物販スペース

ＹＯＲＩＢＡ（広場）

小川町まちなか散策①

小川町まちなか散策②　和紙体験学習センター

小川町の小中学校の卒業証書にも和紙が使われている。

参議院議場

参議院議場内　御傍聴席（天皇・皇后両陛下のお席、今まで使用されたことはない）

国会議事堂模型（参議院内に展示）

国会議事堂正面